

新型コロナウイルスワクチンの接種について

1 要旨・目的

新型コロナウイルスワクチン（以下「ワクチン」という。）接種における本県の取組内容等について報告する。

2 現状・背景

新型コロナウイルス感染症対策の有効な手段であるワクチン接種を、県・市町・関係団体等と連携して実施しているところである。

3 概要

(1) 対象者

県民(12歳以上の方)

(2) 事業内容

ワクチン接種を希望する方が、1日も早く、1人でも多く接種できることを目標とし、市町の接種体制に加え、県主体の大規模接種会場の設置及び職域接種の支援等を実施。

ア 大規模接種会場

県内のワクチン接種の加速のため、次のとおり大規模接種会場を設置。

(ア) 概要

【広島会場】

項目	内容
接種会場	天満屋八丁堀ビル6階
設置期間	9月3日(金)～10月27日(水)
接種者数	53,420回分(26,710人分)

【福山会場】

項目	内容
接種会場	広島県立ふくやま産業交流館(ビッグ・ローズ)
設置期間	8月31日(火)～10月25日(月)
接種者数	27,940回分(13,970人分)

【東広島会場】

項目	内容
接種会場	東広島運動公園
設置期間	9月17日(金)～10月25日(月)
接種者数	18,060回分(9,030人分)

【三次会場】

項目	内容
接種会場	広島県三次庁舎第三庁舎
設置期間	9月18日(土)～10月30日(土)
接種者数	4,480回分(2,240人分)

(イ) 優先接種枠(拡充分及び新設分の50%)

- ・ 妊娠中の方と配偶者等(1,500人)
- ・ 若年層(12～39歳)の方(13,225人)

イ 職域接種(令和3年10月4日現在)

実施状況: 79件(企業等67件(完了: 37件, 実施中: 30件, 実施待ち: なし),
 大学等12件(完了: 9件, 実施中: 3件, 実施待ち: なし))

※ 接種会場1カ所あたりの件数のため、必ずしも事業者数に一致しない。

今後の見通し: 11月上旬には、すべての事業者が接種完了予定。

ウ アストラゼネカ社製ワクチンの接種体制

項目	内容
接種場所	県内1カ所に設置（※ 医療機関名は非公表）
予約に係る問い合わせ先	広島県新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター TEL：082-513-2847
接種対象者	① 18歳以上で、次のいずれかに該当する方 <ul style="list-style-type: none"> PEGアレルギー等で、mRNAワクチンを接種できない方 海外でアストラゼネカ社製ワクチン（以下「AZワクチン」という。）を1回接種済みの方 mRNAワクチンの1回目接種後に重篤な副反応が生じたため、2回目接種にAZワクチンの接種を希望する方 1回目に接種を受けたmRNAワクチンと同じワクチンを2回目に接種することが困難であると医師から判断されたため、2回目接種にAZワクチンの接種を希望する方 ② 40歳以上でAZワクチンの接種を希望する方

エ 追加接種（3回目接種）

(ア) 接種間隔

2回目の接種から概ね8か月以上後に1回追加接種を実施

(イ) 開始時期

早ければ12月から開始

(ウ) 接種体制等

別紙1（自治体説明会（令和3年9月22日）資料抜粋）のとおり

(3) スケジュール

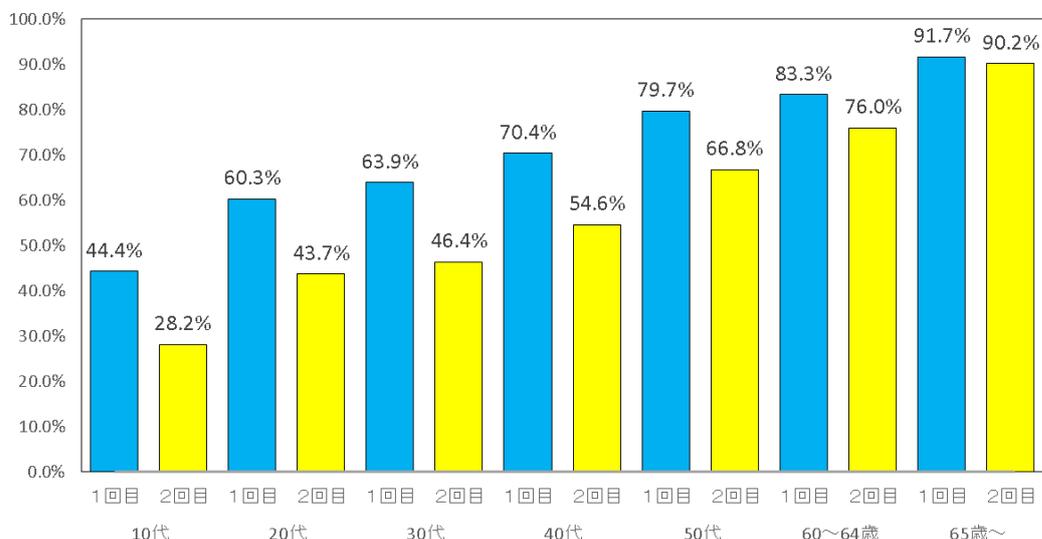
対象者	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月～
医療従事者	■						
高齢者	■	■					
64歳以下の方		■	■	■	■	■	
追加接種							■

4 その他

(1) 市町別接種状況等

別紙2のとおり

(2) 年代別接種状況（令和3年10月3日現在）



【分科会における議論_追加接種】

令和3年9月17日
ワクチン分科会 資料1
(一部改変)

(2)追加接種 (3回目接種)

まとめ

- ・ 諸外国において、2回新型コロナワクチンを接種した場合であっても、接種後の時間の経過とともに、ワクチンの有効性及び免疫原性が低下することが報告されている。
- ・ 一部の国においては、2回のワクチンを接種後、一定の間隔をおいて、追加接種を実施する方針が打ち出されている。

対応方針

論点	対応方針
● 追加接種を行う必要があるか	● 国内外の感染動向やワクチンの効果の持続期間、科学的知見や諸外国の対応状況等に鑑み、 追加接種の必要がある。
● 追加接種を行う場合、2回接種完了からの接種間隔をどうするか	● 追加接種の時期は、諸外国の動向や現時点で得られている科学的知見から、 2回接種完了から概ね8ヶ月以上後 とする。 ※今後の更なる科学的知見を踏まえ、必要に応じて適宜見直すこととする。
● 誰を対象者とするか	● 追加接種の対象者は、 更なる科学的知見や諸外国の対応状況を踏まえ 判断する。
● 使用ワクチンについて	● 使用するワクチンは、1・2回目に用いたワクチンと同一のワクチンを用いることを基本としつつ、 更なる科学的知見等を踏まえ、早急に結論を得ることとする。

3

追加接種の体制確保の進め方 (イメージ)

- ・ 市町村は、①住民接種と②医療機関における職員等への個別接種を組み合わせ、追加接種を進める。
- ・ ②医療機関における職員等への個別接種については、パターン1からパターン3を参考にして、地域の実情を踏まえて、市町村と都道府県とで協力しながら対応する。

① 住民接種

■市町村は、VRSまたは予防接種台帳を利用して、2回目接種完了から一定期間経過した住民を抽出して、段階的に接種券（接種券と予診票一体型の新様式）を郵送できるように、VRSへの未入力データの入力やデータクリーニングなど必要な準備をする。

■市町村は、接種券を受け取った住民が、円滑に追加接種を受けられるように、接種見込み者数を試算して、個別接種と集団接種を組み合わせ、必要な接種体制を構築する。

■市町村は、11月から接種券を順次発送し、予約を受け付け、12月から接種を開始できるように準備する。

※医療機関における職員等への個別接種の対象とならない医療従事者等（職員等への個別接種を希望しない病院・診療所、薬局、訪問看護ステーションなどの従事者や消防職員等）については、住民接種の枠組みで対応することに留意。

② 医療機関における職員等への個別接種

パターン1

■市町村は、圏域内の医療機関（病院および診療所）に対して、職員等への個別接種の実施意向があるかどうかを調査する。

■市町村は、職員等への個別接種の実施の意向のある医療機関に対して、集合契約など個別接種にあたって必要な準備を促し、住所地外の職員の分も含めて必要量のワクチンを提供する。

パターン2

■都道府県は、圏域内の医療機関（病院および診療所）に対して、職員等への個別接種の実施意向があるかどうかを調査する。

■都道府県は、職員等への個別接種の実施の意向のある医療機関に対して、集合契約など個別接種にあたって必要な準備を促し、住所地外の職員の分も含めて必要量のワクチンを提供する。

パターン3

■市町村は圏域内の診療所、都道府県は圏域内の病院と役割分担をして、職員等への個別接種の実施意向調査や、ワクチンの提供等を行う。

7

市町別接種状況

市町名	64歳以下				全人口			
	1回目		2回目		1回目		2回目	
広島市	513,480人	65.28%	382,462人	48.62%	792,457人	66.32%	656,706人	54.96%
呉市	77,015人	61.11%	59,542人	47.24%	146,095人	67.11%	127,181人	58.42%
竹原市	10,221人	77.89%	9,499人	72.38%	19,842人	80.85%	18,978人	77.33%
三原市	35,639人	67.03%	27,720人	52.14%	65,207人	70.87%	56,806人	61.74%
尾道市	47,815人	62.32%	33,916人	44.20%	92,956人	69.20%	78,205人	58.22%
福山市	200,385人	68.23%	159,249人	54.23%	323,472人	66.29%	279,699人	59.91%
府中市	15,237人	70.66%	13,254人	61.46%	28,480人	74.55%	26,221人	68.63%
三次市	20,296人	69.80%	16,541人	56.89%	37,384人	72.97%	33,333人	65.06%
庄原市	12,539人	72.74%	11,812人	68.52%	26,926人	78.71%	25,721人	75.19%
大竹市	10,855人	70.81%	8,667人	56.54%	19,663人	73.88%	17,356人	65.21%
東広島市	90,565人	71.98%	77,745人	61.79%	133,777人	70.64%	120,349人	63.55%
廿日市市	47,507人	66.21%	33,728人	47.01%	80,709人	68.96%	66,456人	56.78%
安芸高田市	11,710人	77.25%	10,336人	68.18%	22,122人	78.88%	20,626人	73.55%
江田島市	8,412人	73.51%	7,962人	69.58%	17,490人	78.23%	16,928人	75.72%
府中町	25,229人	73.99%	19,233人	56.40%	37,414人	71.81%	31,220人	59.92%
海田町	14,193人	70.96%	11,854人	59.26%	20,982人	69.15%	18,519人	61.03%
熊野町	9,706人	71.59%	7,878人	58.11%	17,591人	74.19%	15,672人	66.10%
坂町	6,301人	78.89%	5,301人	66.37%	9,876人	76.10%	8,820人	67.96%
安芸太田町	1,689人	64.42%	1,620人	61.78%	4,559人	76.11%	4,460人	74.46%
北広島町	7,380人	72.95%	6,568人	64.93%	13,900人	76.19%	12,974人	71.11%
大崎上島町	2,897人	81.45%	2,848人	80.07%	6,131人	83.62%	6,047人	82.47%
世羅町	5,427人	66.18%	4,342人	52.95%	11,451人	72.82%	10,227人	65.04%
神石高原町	3,064人	74.77%	2,987人	72.89%	6,984人	80.36%	6,877人	79.13%
計	1,177,562人	66.87%	915,064人	51.97%	1,935,468人	68.82%	1,659,381人	59.00%

※ VRS 入力情報（令和3年10月3日）

医療従事者接種状況

1回目		2回目	
121,399人	101.17%	115,926人	96.61%

※ V-SYS 入力情報（令和3年10月3日）

まとめ（市町別接種状況及び医療従事者接種状況）

1回目		2回目	
1,954,712人	69.50%	1,703,599人	60.57%

※ VRS, V-SYS の重複者は除く

分母となる広島県の人口については、2,826,818人（基準日：令和2年1月1日）から2,812,433人（令和3年1月1日）に更新